



「安全保障関連法案は国民的合意が得られないまま成立させないこと」を含む国への意見書提出を求める請願書

犬山市議会議長

堀江 正栄様

平成27年6月3日
2015年6月3日

11号正栄
11号正栄

請願者:戦争法案を許さない犬山連絡会
共同代表者

紹介議員

水野正光

岡村千里

若田鏡久 岡 寛

【請願趣旨】

安全保障関連法案(以下、安保法案と略す)はマスコミも「日本が戦後貫いてきた専守防衛の原則を逸脱しかねない危うい法案だ。平和主義に汚点を残してはならない。」(5/27, 中日新聞)と指摘しています。

国民世論の動向は、共同通信社の調査で「安保法案に47.1%が反対で、賛成35.4%を上回り、安倍政権が十分に説明しているとは思わないとの回答が81.4%に」(6/1, 各紙)となっています。

犬山市は1985年に「世界の人々と手を携え、人類の平和を願い非戦・核兵器廃絶のために全力を尽くすことを誓い」「平和都市を宣言」しています。私達は「平和都市・犬山」の市民として国民的合意の無いまま国会内だけの多数決で成立させることに警鐘を鳴らしたく、請願いたします。

【請願事項】

「安全保障関連法案は国民的合意が得られないまま成立させないこと」などの意見書を国に提出して下さい。

